



令和6年度 つながり、広げる子どもの読書応援事業

県南地区読み聞かせボランティア養成講座

たくさんの笑顔が生まれました

この講座は、子どもと本をつなぐ読み聞かせボランティアを継続的に育成・支援するためのものです。8月5日(月)6日(火)、横手市交流センターY²ぷらごで、学校や図書館で活躍されている「県南ブックコミュニティ」の皆さんを講師に招き実施しました。読み聞かせに興味のある大人や高校生、子どもと関わる職業を目指す高校生が多く参加し、読み聞かせのノウハウを真剣な表情で学び、将来に役立つ貴重な経験を積んでいました。この講座を機会に読み聞かせの輪が広がっていくことを期待します。(参加者：高校生46名、一般2名)



<受講した皆さんの感想>

- ・将来、幼稚園教諭が夢で、学校でチラシを見て興味がわき参加した。参加して子どもたちと触れ合えてよかった。
- ・聴く人のことを考えて体の位置や本の向きを工夫するなど、気付かないところでたくさん考えられていることを知り、すごいと思った。
- ・子どもたちの意識を引きつけるための工夫をするなど、こちらの立場になってみないと分からないことも学べてよかった。
- ・持ち方やページのめくり方など、細かいところまで教えてくださり、読み聞かせをするのがすごく楽しかったし、実際に子どもを前にするとみんな真剣に聴いてくれて楽しくできた。
- ・読み方を考えて実際にやってみることは楽しく、子どもたちの前でもかなりの達成感があった。参加してとてもよかった。
- ・第一に自分が楽しむことが大事だということを学べた。
- ・聴く方も楽しいけど、自分自身で工夫して読み聞かせするというところに、別の楽しさがあるということが分かった。
- ・小学生の男の子に、自分の読んだ本がおもしろかったと言われてうれしかった。とてもやりがいを感じるよい機会だったと思う。
- ・自分が楽しむということを意識したら、自然に子どもたちも声を出してくれるようになってうれしかった。たった数分しかいなかったが、みんなと仲良くなれて最高だった。本の素晴らしさを改めて実感した。

←2日目は実習でした↑